

一般社団法人 日本動物実験代替法学会
2026 年度事業計画
(第Ⅱ期：2025 年 9 月～2026 年 8 月)

理事長 酒井 康行
総務担当理事 豊田 明美

I. 役員の構成

1. 法人 役員構成

理事長（代表理事）	酒井 康行
副理事長	笠原 利彦
理事_総務	豊田 明美
理事_企画	坂口 斉
理事_編集	石田 誠一
理事_広報・SDG s WG	古川 克子
理事_国際交流	福田 淳二
理事_会計・財務	竹内 和也
理事_学術	小島 肇
理事_3Rs 啓発	小島 伸彦
監事	足利 太可雄
監事	萩野 滋延

2. 大会長

第 38 回大会長（2025 年 横浜）	福田 淳二
第 39 回大会長（2026 年 姫路）	山下 邦彦

3. 委員会・ワーキンググループ（WG）委員長

総務委員会	大竹 利幸
企画委員会	清水 健司
編集委員会	古水 雄志
広報委員会	西川 昌輝
国際交流委員会	畑尾 正人
財務委員会	梅下 和彦
学術委員会	杉浦 慎治
3Rs 啓発委員会	堀口 一樹
SDGs WG	古屋 律子

II. 活動方針

1. 学術的支援活動

1) 講演会等

動物実験代替法の普及促進のため、学会が今後目指すべきエリアなどの共有や課題発掘のきっかけとして代替法に関する最新のトピックスに沿ったシンポジウム形式の講演会、試験法に関する講演会を実施する。

➤ 第38回大会におけるシンポジウム主催

[企画委員会] 「未来につながる 新技術の萌芽」

[国際交流委員会] 国際シンポジウム「New trend in Asian alternative research」

[SDGs ワーキング] 「博士のススメ」

2) 技術セミナー[企画委員会]

OECD テストガイドラインに記載された試験法等の技術習得促進を目的として実施する。

3) 技術講習会[企画委員会]

医薬部外品ガイダンス等の講習会 ((局所毒性、NGRA 等))

4) 他学会との協業[学術委員会]

・3Rs 普及のため、他学会との連携を推進する。

1) 化学とマイクロナノシステム学会との覚書締結

2) 日本化粧品学会との Safety Officer 制度に関する覚書締結

・関連学会の情報収集やリストアップを進め、関連学会との共催シンポジウムの提案を行う。

1) 化学とマイクロナノシステム学会との共催セッション (第38回大会)

2) 日本実験動物学会第73回総会 (沖縄) での合同シンポジウム (26年5月)

3) 日本組織培養学会大会 (長岡科学技術大学) での合同シンポジウム (26年6月)

4) 日本化粧品技術者協会大会でのブース出展

2. 国際交流活動

1) Asian Federation

アジアにおける動物実験代替法の普及促進のため、KSAAE(The Korean Society for Alternatives to Animal Experiments), 中国 TATT(Toxicology Alternatives and Translational Toxicology), SAAE-I(Society for Alternatives to Animal Experiments-India)などと連携し活動を行う。AF ジャーナルの創刊に向けて検討を進める。

2) 欧米アジアとの交流

25年8月 WC13、25年10月インド SAAE-I、26年6月 KSAAE、26年7月中国 TATT、

3) 会員への国際情報発信を強化

国際情報を積極的に収集し、メールニュースで国際情報を毎月会員に発信する。また、広報委員会および3Rs 啓発委員会とともに、HP で国内動向を海外に発信する。

3. 3Rs 啓発活動

1) 出前講義

- ・高校生、大学生、大学院生、あるいは市民に対して 3Rs や動物実験代替法に関する講義を行う。年間 6 件を目標に取り組む（大学 3 件、高校 3 件）。学会員の所属機関（大学）での講義の取り扱いに加え、高校での講義実績を増やし、チャレンジコンテストの応募増加につなげていく。
- ・新しい学会ホームページに出前講義のウェブページを開設し、申込件数の増加につなげる。

2) チャレンジコンテスト

- ・高校生に対して 3Rs や動物実験代替法に関する啓発の機会を提供する。
- ・チャレンジコンテストのウェブページの充実を図る。動画の掲載など、高校生の世代に伝わりやすいツールを導入する。
- ・協賛金に賛同していただける企業が学会メンバーではない場合には、学会メンバーにもなっていただけるように、3Rs 啓発活動を行う。例えば出前講義を提案する。あるいは、企業座談会の対談先として紹介する。
- ・例年実施しているアイデアコンテストに加え、参加障壁のより低い部門の設定を検討し、より多くの中高生に対して 3Rs や動物実験代替法について考える機会を提供する。
- ・アイデアコンテストについて、優秀なアイデアに対して実際に検証する機会を得られるよう、外部資金調達やマッチングなどを模索する。

3) 企業座談会（企業探訪シリーズ）

- ・学会の会員である企業や非会員である企業に対して、座談会という形で 3Rs に関する思いや、日本動物実験代替法学会に対する希望などをお伺いする。
- ・ニュースレターの記事として学会メンバーに公開することは、これまで通り実施する。ウェブサイトにも専用ページをつくり、pdf ファイルとして一般の方々にも公開する。
- ・学会の活動が当該企業のニーズにどのようにマッチするかも併せて考え、学会の持続的な発展と当該企業の経済活動が両立する関係性を模索する。
- ・年間 2 回程度を実施する。

4. 出版活動

1) 学会誌の発行

- ・学会誌「Alternative to animal testing and experimentation (AATEX)」を発行する。
2025 年 9 月～2025 年 12 月の期間中に第 30 巻 1, 2 号、第 38 回大会 Supplement の発行を予定している。
2026 年 8 月に AATEX 第 31 巻 1 号の発行予定（J-Stage 版）
- ・PMC 収載に向けて、2026 年 1 月からの投稿規定の改訂、査読ガイドライン、倫理規定の改訂の HP 掲示を行う。
- 盗用・剽窃チェックツールの導入について検討を行う。AATEX 編集業務（J-Stage へのアップ含め）の外注化を進める。また、AATEX 活性化について国際化を含め検討する。

2) ニュースレターの発行

春と秋の年間2回の発刊を行う。国際学会開催など特別なイベントがあれば臨時発刊も考慮する。3Rs やその関連分野で活躍中の先生方のエッセイをリレー形式でお届けするなどコンテンツの拡充を図る

- No.78：2025年11月
- No.79：2026年5月

5. 広報活動

1) HP について[広報委員会]

HP への情報掲載及びサポートを実施する。昨年度実施した学会ホームページの刷新を継承し、HP を通じた広報環境の整備を行う。また、HP の情報の充実化・多言語化などを検討し、HP を通じた動物実験代替法に関する啓発を進める。

2) メールニュースについて[広報委員会]

会員向けに積極的な情報発信を行う。HP 上にお知らせとしても同時掲載することでHP アクセスの向上、より広範囲な情報発信を心掛ける。会員情報の更新を毎月行い、情報伝達の漏れを最小限にとどめる。

6. 財務活動

1) 会計業務の効率化[財務委員会]

- ・会計業務の多能工化（メンバー全員が会計業務をできるようにする）

2) 一般および企業会員の新規獲得[財務委員会]

- ・一般会員およびゴールド／シルバーの企業会員を増やす（26年度の継続）

7. 助成金活動および賞等選考活動

1) マンダム動物実験代替法国際助成金[総務委員会]

株式会社マンダムからの支援を受け、動物実験代替法開発支援のための研究助成活動を行う。

第17回 研究報告会開催 @第38回横浜大会

第18回 助成期間終了～報告書受領

助成期間：2025年4月1日～2026年3月31日

第19回 助成金運用準備～採択研究決定

公募期間：2025年11月1日～2026年1月31日

審査期間：2026年2月1日～2026年3月31日

助成期間：2026年4月1日～2027年3月31日

2) NGRA(Next generation risk assessment)に関する研究助成金[総務委員会]

日本化粧品工業会からの支援を受け、NGRA 研究助成活動を行う。

第10回 採択研究 研究遂行サポート（研究期間：24年4月～26年3月）

第 11 回 採択研究 研究遂行サポート（研究期間：25 年 4 月～27 年 3 月）

第 12 回 採択研究 公募及び審査（研究期間：25 年 4 月～26 年 3 月）

第 13 回 研究助成活動の実施に向けて、粧工連と協議を行う。

3) LRI 賞

日本化学工業協会(日化協)からの支援を受け、日化協 LRI 賞の募集を行う。

2026 年度 募集（応募期間：26 年 5 月～26 年 7 月）

4) 各賞選考

名誉会員、功労賞[学術委員会および編集委員会]

マンダム動物実験代替法国際助成金、NGRA(Next generation risk assessment)に関する研究助成金、2026 年度学会賞、第 11 回 LRI 賞、大会時の優秀発表賞などの選考を行う。[学術委員会]

AATEX 優秀論文賞[編集委員会]

8. SDGs ワーキング委員会

2026 年度内に関連委員会への引継ぎ及び本委員会解散を視野に入れ活動を推進する。

(2026 年 7 月 SDGs ワーキング委員会開催予定)

- ① シニア会員の制度化
- ② 企業とアカデミアの連携強化
- ③ 化粧品セーフティアセッサー教育プログラム開始に向けたサポート
- ④ その他（男女共同参画学協会連絡会への参画、等）

9. 年間スケジュール

日時	学術的支援活動 等	出版活動 公募活動 他
9 月	・ WC13 (8/31～9/4, リオデジャネイロ AF シンポ, JSAAE 賞[国際交流] ・ 化粧品セーフティアセッサー教育プログラムの日本語字幕作成[SDGs] ・ 出前講義 1[3Rs]	・ ATEX Vol.30 No.1 発行
10 月	・ 第 8 回 SAAE-I 年会 (10/8-10, ハイデラバッド) [国際交流]	
11 月	・ 第 38 回大会にてシンポジウム開催 [企画・国際交流・SDGs] ・ 化学とマイクロナノシステム学会との共催セッション[学術] ・ 出前講義 2[3Rs]	・ 第 19 回マンダム研究助成公募開始 ・ ニュースレター発行 (No.78)
12 月		・ AATEX Vol.30 No.2、第 38 回大会

		Supplement ・ チャレンジコンテスト協賛企業の募集開始
26年/1月	・ 出前講義 3[3Rs] ・ 化粧品セーフティアセッサー教育プログラムの日本語字幕作成（日本化粧品学会と協同）[SDGs]	・ NGRA(Next generation risk assessment)に関する研究助成金選考 ・ 投稿規定改訂 HP アップ、AATEX 編集業務の外注化開始
2月	・ 技術講習会開催[企画] ・ 企業とアカデミアの連携強化イベントの開催[SDGs]	・ 第36回大会 Supplement の発行予定 ・ チャレンジコンテスト 2026 の開催予告開始 ・ マンダム動物実験代替法国際助成金選考
3月	・ 出前講義 4[3Rs] ・ 企業座談会 1[3Rs]	・ ニュースレター発行 (No.78)
4月		・ チャレンジコンテスト 2026 の開催予告開始 ・ 第18回マンダム研究助成金採択決定通知 ・ 学会賞・LRI 賞公募開始
5月	・ 出前講義 5[3Rs] ・ 実験動物学会総会での合同シンポ[学術]	・ ニュースレター発行 (No.79) ・ 優秀論文賞審査開始
6月	・ KSAAE（日時場所未定）[国際交流] ・ 日本組織培養学会（長岡科学技術大学）との合同シンポジウム[学術] ・ Asian Federation web 事前会議	・ チャレンジコンテスト 2026 の応募開始 ・ 優秀論文賞審査開始
7月	・ 中国 TATT（日時場所未定）[国際交流] ・ 出前講義 6[3Rs] ・ 企業座談会 2[3Rs]	
8月	・ 技術講演会を開催[企画]	・ 学会賞・LRI 賞選考決定 ・ チャレンジコンテスト 2026 最終審査会の開催[3Rs] ・ AATEX Vol.31 No.1 発行（オンラインのみ）

以上